

St. Luke's International University Repository

2004年度聖路加看護学会評議員会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 聖路加看護学会 公開日: 2021-03-12 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/736

2004年度 聖路加看護学会 評議員会報告

- 日 時：2004年9月24日(金) 17:30～19:30
- 場 所：聖路加看護大学 506 共同研究室
- 出席者：評議員 18名
(庶務：松谷 書記：塚本)

1. 開 会

評議員 28名中、出席者 18名で過半数を超えたため、会則第9条3項により評議員会が成立したと宣言された。

2. 理事長挨拶 (菱沼理事長)

理事長より開会にあたり挨拶があった。

3. 報告事項

1) 2004年度理事会報告

学会理事会は計6回開催され、入退会者の承認、会則の改正の検討等が行われた旨の報告がなされた。

2) 2004年度庶務報告

本年度入会者 19名、退会者 11名であった。したがって現在 571名の会員数である。

事務所の2号館への移転が3月に行われた。

日本学術会議から要請された科学研究費補助金交付の審査委員に関する情報提供や日本看護系学会協議会総会への出席等を行った。

学会のロゴマークを募集したが応募がなく、見送りとなった。

3) 学会誌編集委員会報告

編集委員会は4回開催された。学会誌への投稿規定の検討等を行った。学会誌第8巻1号を発行した。故常業前理事長の第1回学術大会時の講演を再録した。

4) ニュースレター委員会活動報告

14号、15号で第8回、第9回学術大会の特集を組んだ。次年度の企画、校正作業を検討した。2005年度の年間計画を掲載したが、次回からは次年度計画は事業計画に入れることとする。

5) 学術交流委員会報告

委員会を2回開催した。6月に「電子カルテの光と影」を主題とした学術交流会を行ったところ非会員の方も多く参加して頂き、また満足度が高かったようだとの報告があった。

● 第9回学術大会の準備状況

最終的に当日参加も含めて75～80名程度の参加者の見込みである。漫画家のちばてつや氏に特別講演を依頼している。シンポジウムも様々な領域からの提言となる。以上、準備状況について報告された。

4. 審議事項

1) 2004年度会計報告・会計監査報告

2004年度会計報告、および会計監査報告がなされ、承認された。

2) 2005年度事業計画案

以下の計画案が説明された。審議の結果全て承認された。

- ① 第10回学術大会の開催
- ② 学会誌第9巻の発行
- ③ ニュースレターの発行
- ④ 会員相互の学術交流
- ⑤ 会員の拡充
- ⑥ 評議員・役員の選出
- ⑦ 本学会の将来構想の検討

当初大学院生の発表の場という意味合いも大きかったが、他の学術団体も増えている現在、本学会のあり方を再検討する必要がある。10周年を迎えるにあたって将来のことを考えるためにも委員会を設立したいと合意された。

3) 2005年度予算案

2005年度は選挙の年にあたり、特別会計(選挙積立金)がこの目的にあてられる。

明日の総会での報告を予定している。また、予備費は「将来構想検討事業」のための費用も含まれている。引き続き会員には会費を納めてもらうよう努力したい旨の説明があった。審議の結果、2005年度予算案は承認された。

4) 聖路加看護学会会則の改正案

会則の改正について、以下の提案があった。

第二章第6条は改正。

第三章第8条(4)は削除し、第9条(4)をあらたに設ける。

同第9条(2)(3)は改正案どおりとし、あらたに(4)を追加する。

(4)役員に欠員が生じた時は、理事会であらたに推薦・決定し、残任期間その任にあたるものとする。

同第11条は「…選挙で選出する。」とし、下線部を追加する。

第四章第17条(3)総会を削除する。

同第18条「理事会は、理事が理事、監事および理事が必要と認めたものを招集して開催し、理事長がその議長となる。」のように改正案を修正する。

同3項および4項については改正案どおりとする。

第19条「評議員会は理事長が評議員および理事長が必要と認めたものを、招集し、その議長となる。」と改正案を修正する。

第19条4項は改正案どおりとする。

第五章以下は改正案どおりとする。

以上のような提案があり、審議の結果、一部修正の上、承認された。

5) 第10回学術大会会長の承認

第10回学術大会会長として、聖路加看護大学小澤道子氏の選出が提案され、承認された。

6) 第 11 回学術大会会長の推薦

第 11 回学術大会会長として、聖隷クリストファー看護大学木下幸代氏を推薦したい旨の説明がなされ、総会において推薦することが承認された。

7) 評議員の繰上げ選出について

紅林みつ子評議員のご逝去にともない、評議員に欠員が生じたため、会則規定により新たに評議員を決定することとなり、常葉評議員のご逝去にともなう前年の繰上げに引き続き、森田夏実氏が推薦され、承認が得られた。

5. 第 10 回学術大会長の挨拶

第 10 回学術大会会長小澤道子氏より挨拶があった。大会テーマは「生涯発達と看護」で検討している。会期は 2005 年は 9 月の最終土曜日は 24 日にあたるが、23 日に開催するか検討しているとの説明がなされた。

6. その他

学会の新しいロゴマークに関しては将来構想との関連もあるため一次保留とすることが説明され、了承された。

7. 閉 会